

# 公民館の利用促進を図る講座の開設

外海公民館

## 1 はじめに

「外海」という地名は、近世(江戸時代の頃)より、西彼杵半島西岸の角力灘沿岸一帯を外海(そとめ、ほかめ)、東岸の大村湾沿岸を内海(うちめ)と呼ぶことに由来します。この外海地域は、山間部の森林の緑と起伏に富んだ長い海岸部に見られる海の碧さを満喫でき、古くから神浦・出津・黒崎・池島の4地区が、社会の情勢に影響を受けながら、地区間の交流を深め固有の文化をはぐくんできました。



## 2 外海地域の状況と「講座内容と各曜日をリンク」させる取組

外海地域の令和3年12月現在の人口構成は、15歳未満(5%)・15歳以上65歳未満(42%)・65歳以上(53%)で、少子高齢化が顕著になってきています。公民館講座の参加者の内訳(令和3年度)は、年代別では65歳以上(65%)・男女別では女性(67%)・地域別では外海(57%)を占めています。

そこで、高齢者・女性・外海住民をキーワードに、個々の生活や私事を調整し、主体的・計画的に公民館講座に参加できるように、今年度は講座を分野ごとに整理し、各曜日ごとに「○○の日」を設定しました。



## 3 講座の実践

### (1) 月曜日はスキルの日

＜生活を豊かにする「道具」を、個々のニーズに応じて活用していく力を高める＞

講座名等	日時設定と回数等	内容等
初心者のパソコン ～エクセルの活用～	○第2・第4の午前 ○春7回・秋7回(連続)	公民館のパソコンを使い、住所録や年賀状を作成する。
スマホ教室 ～基礎編～	○第2の午後 ○春4回・秋4回	個人所有のスマホを使い、各種アプリの活用等を学ぶ。
筆ペン教室 ～冠婚葬祭の折に～	○5・6月の午前 ○春2回	「慶弔の表書き」を手書きする際ポイントを押さえ、練習する。

### (2) 水曜日は運動の日

＜健康寿命の鍵となる「適度な運動」を、共に実践していく力を高める＞

講座名等	日時設定と回数等	内容等
ようらと ～おおむねシニア～	○第2・第4の午前 ○春8回・秋13回	卓球を通して、心身のリフレッシュと親睦を深める。

### (3) 木曜日は手づくりの日

＜手づくり本来の「作る喜び」を、使う喜びや味わう喜び、贈る喜びにつなぐ＞

講座名等	日時設定と回数等	内容等
外海のグルメ ～懐かしさの中に～	○5・12月の午前 ○春1回・秋3回	地産地消、外海の特産品を使った料理やおやつ等を作る。
手づくりのお飾り ～季節を感じる～	○12・3月 ○秋3回	クリスマスや年始(干支)、端午の節句等のお祝い飾りを作る。
手づくりの実用品 ～温かみを感じる～	○6月の午前 ○春4回(連続)	身近に使える布製の小物やぞうり等を作る。

### (4) 金曜日はさるくの日

＜現存する自然や遺産、史跡等を「実地踏破」し、知識を深め感性を豊かにする＞

講座名等	日時設定と回数等	内容等
外海の自然と歴史 ～散策と学び～	○4・5・9・10月の午前 ○春4回・秋6回	外海地域のキリスト教関連遺産や自然観察、旧炭鉱の島を巡る。

### (5) 土曜日は親睦の日

＜同じ世代の仲間と「活動と時間」を共有し、思いやりや共に生きる心を高める＞

講座名等	日時設定と回数等	内容等
グランドゴルフとポッチャ ～シニア～	○第2・第4の午前 ○春8回・秋7回	天候や気候を考慮して、どちらかの種目を試合形式で実施する。
へんぷう ～小学生～	○第3の午前 ○春4回・秋7回(連続)	季節ごとにテーマを決め、地域の歴史や文化に触れる。

## 4 公民館講座の参加者の状況と考察

公民館講座の参加者数 (R5.1 月末)				地域別の参加者数	
年代	男	女	合計	外海	その他
～18歳	43	100	143	331 (72%)	129 (28%)
18～65歳	8	62	70		
65歳～	111	136	247		
合計	162	298	460		



公民館講座の参加者数は、コロナ禍により様々な制限があった令和3年度からすると、今年度は大きく増加しています。その中で、高齢者・女性・外海在住の割合も高くなっています。また、講座の振り返りや会話の中に、「○曜日の講座・・・」や「今度の○○の日・・・」という言葉もあり、時間のやり繰りに比較的余裕のある（講座やグループ活動に参加できる）人にとっては、今年度の取組は都合がよかった人もいます。

次年度以降も、講師の方と調整して、できるだけ「曜日とジャンル」を結び付けたいと思います。